別紙様式第１-１（第７条関係）

　　　　年　　月　　日

動物実験計画承認申請書

国立大学法人長岡技術科学大学長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　 〔実験責任者〕所属・職

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　　　　　　　　　　　　　 　　　〔管理者〕　　　　　　　　　　系　長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　国立大学法人長岡技術科学大学動物実験取扱規程第７条第１項の規定に基づき、以下のとおり動物実験計画について申請しますので、承認願います。

|  |
| --- |
| □新規　　□変更　　□継続（前承認番号：　　　　　　　　） |
| 研究課題名 |  |
| 実験実施期間 | 承認後～ 　　　　年　　月　　日　（最長３年以内の年度末まで） |
| 研究目的 |  |
| 実験責任者 | 所属・職　フリガナ　　氏　名 | 連絡先 | 動物実験の経験等 |
| Mail:　 内線: 　 | 教育訓練受講: □有 □無 |
| 実験従事者 | 所属・職名等 | 氏名 | 動物実験の経験等 |
|  |  | 教育訓練受講: □有 □無 |
|  |  | 教育訓練受講: □有 □無 |
|  |  | 教育訓練受講: □有 □無 |
|  |  | 教育訓練受講: □有 □無 |
|  |  | 教育訓練受講: □有 □無 |
| 使用動物 | 動物種 | 系　統 | 性別 | 匹数 | 微生物学的品質 | 入手先 |
|  |  |  |  |  |  |
| 実験場所 | 飼養保管施設 |  | 実験室 |  |
| □学内学長承認:□有□無□学外当該機関長の承認：□有□無 | □学内学長承認:□有□無□□学外当該機関長の承認：□有□無□ |
| 学外との共同研究 | □本学の実験従事者が学外の施設で実験動物の生体を用いる□学外の共同研究者が本学内の施設で実験動物の生体を用いる□上記2つに当てはまる動物実験は実施しない |
| 研究計画と方法 | 研究概要 |
| 実験方法 (動物に加える処置、使用匹数の根拠、人道的エンドポイントを具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる) |
| 安全管理上の規制対象実験 | □なし□あり | □感染実験□毒物・劇物・特定化学物質・麻薬・向精神薬等の使用実験□遺伝子組換え動物使用実験　区分: □P1A □P2A　遺伝子組換え実験計画: □承認済 □申請中 |
| 動物実験を必要とする理由 | □検討したが、代替手段がない□代替手段の精度が不十分□その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 想定される苦痛カテゴリー | □ B 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験 |
| □ C 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験 |
| □ D 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験 |
| □ E 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験 |
| 動物の苦痛軽減・排除の方法 | □短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない□科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない□麻酔薬・鎮痛薬等を使用する（薬品名：　　　　　　　　　　　　　投与量：　　　　　　　　　　　　　方法：　　　　　　　　）□動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとる等の人道的エンドポイントを考慮する□その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 安楽死の方法 | □麻酔薬使用（薬品名：　　　　　　　　　　投与量：　　　　　　　　方法：　　　　　　　　　　　）□中枢破壊　□安楽死させない（その理由:　 　　　　　　　　） |
| 動物死体の処理 | □外部業者に委託　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
| 委員会記入欄 | 確認：　　年　　月　　日修正意見等□申請された動物実験計画は規程に適合する。□申請された動物実験計画は規程に適合しない。 |
|  |
| 学長承認欄 | 承認：　　年　　月　　日 |
| 本実験計画を承認します。承認番号：第　　　　　　号 国立大学法人長岡技術科学大学長 |